

令和8年
7月発行

水産にいがた

発行所

新潟市中央区万代島2番1号

新潟県漁業協同組合連合会

発行人 寺尾和弥

www.van-rai.net/nigyoren/

※会員の購読料は指導事業
経費より支払いされてい
ます。



新造船 第七十八明神丸 進水式の様子

主たる目次

令和八年度系統団体通常総会（定時会員総会・定例総会・事業実績報告会）開催	2
人事往来	12
新採用職員紹介（普及担当）／県指導普及員紹介	13
系統団体職員紹介	15
祝 新造船建造	16
漁業用燃油の安定的な確保を求める緊急漁業代表者会議及び自民党水産政策推進議員協議会・懇談会出席について	16
令和7年度 浜の活力再生プラン優良事例表彰について	17
味覚データによるのどぐろ評価	19
水揚情報／地区別魚種ランキング12月～5月	20
売船広告	21
新潟海上保安部よりお知らせ	23
税関から漁業関係者の皆様へのお願い	24

大切な海、美しく豊かに

令和八年度系統団体通常総会（定時会員総会・ 定例総会・事業実績報告会）開催

新潟県漁業協同組合連合会

県漁連の令和八年度通常総会が、六月二十三日に新潟県水産会館二階大会議室で開催されました。

新潟県漁協役員永年勤続者表彰対象者はおりませんでした。

総会の議長に佐渡漁協の寺尾代表理事組合長が選出され審議に移り、令和七年度事業報告、令和八年度事業計画等の報告が行われ、全議案が原案どおり可決されました。

◇事業の状況

令和七年度における当連合会の実施した事業として、事業部門ごとの実績のうち購買事業の石油部門については、ウクライナ情勢や中東など地政学的リスク、トランプ政権による関税政策、二月にはイスラエルと米国によるイラン核

施設への攻撃が行われ、それによるホルムズ海峡封鎖など資源調達に大きな影響を及ぼしており、原油価格は値動きの大きい展開となりました。

このような状況の下、全漁連をはじめとする仕入先と可能な限り価格交渉を行い、安定供給に努めました結果、上・中・下越地区会員に対する取扱いに加え、員外利用の大幅な減少により、前年度対比で数量八五・三%、金額八五・七%の取扱いとなりました。

資材部門では、釣具類、包装資材類及びその他資材類、発泡スチロール魚箱が増加したことから、前年度対比金額で一〇一・〇%となりました。

製氷冷凍事業の凍氷では、上・中越地区での取り扱いが減少したものの、冷餌料においては、籠漁に使用する冷凍サンマ・ニシン等の扱いが増加したこと、前年

度対比金額九八・五%となりました。

販売事業については、新潟市場扱いのナンバンエビ、カレイ類が減少したものの、タイ・ワラサ・サバ、刺し網漁でのズワイガニ、県外出荷のクロマグロが増加したこと、販売事業全体では、前年度対比金額で一〇二・八%となりました。

一方、指導事業は、会員の負託に應えるため、県域アクションプランの基、漁協組織強化・漁業資源回復・漁業就業者確保及び育成・燃油高騰対策・浜の担い手漁船リース事業推進等について、県並びに関係機関の協力を得て積極的な事業展開に努めたことに加え、昨年八月に東電福島第一原発から海洋放出されたアルプス処理水への風評被害対策と一部魚種の禁輸措置に係る漁業被害への対応を積極的に図ってまいりました。

今後も引き続きこれら問題については注視し、会員各位との情報の共有とアルプス基金事業の推進に努めてまいります。

また、このような中、本会と致しまして、第三次中期経営計画に基づき、漁業者が直面している厳しい状況を踏まえ、その実践に向けた運動を積極的に展開するとともに、経営強化の観点から事業管理費等の削減を図るなど健全な運営を確保するよう努めてまいりました結果、経済事業総取扱高は二〇億五、八五〇万円、事業利益一九六二万円となり、当期剰余金三、六九四万円を計上することができました。

令和七年度の事業の状況は以上のとおりであります。今後とも役員が一丸となり、効率的な事業の展開と会員への良質なサービスの提供に努めてまいりますとともに健全な事業運営を確保してまいりますので、引き続き会員並びに関係各位の特段のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

東日本信用漁業協同組合連合会

新潟支店

当年度の決算に係る事業実績等報告会は、去る六月二十三日に新潟県水産会館大会議室にて開催され、以下のとおり報告が行われました。

東日本信漁連が設立され、第五事業年度となる令和七年度は、東日本信漁連合併時に策定した広域再編計画の最終年度として、理念・基本方針に基づき経営の安定運営と効率化に努めました。当年度においても、自然災害の猛威はますます勢いを強め、管内では記録的な暴風雨や豪雨、山林火災等により大きな被害を受けました。被災した皆様に対して心からお見舞い申し上げるとともに、当連合会においても最大限のサポートを行ってまいります。

経済・金融環境については、米価等食料品価格の高騰を主因として消費者物価は前年比三%前後の上昇が継続しました。日銀はインフレ継続や賃金上昇を背景に利上

げを実施し、政策金利は約三十年ぶりの高水準となりました。株式市場においてはAI関連の活況等により日経平均株価は史上初の五万円台を突破しましたが、米国の関税政策や特に中東における情勢不安が非常に大きなリスク要因として意識されることとなりました。当連合会としては「金利ある世界」に対応していくため、事業運営モデルの見直しに向けて検討を進めました。

漁業環境については、海水温の上昇、海流の変動等、近年の海洋環境の変化は著しく、数年ぶりのスルメイカ豊漁により緊急的な漁獲枠の増枠があった一方、ホタテ貝等の養殖漁業において、へい死により大きな被害が見られました。全体的には資源量の減少等による水揚げへの影響が継続したところ、漁業資材や燃料費の高騰等、漁業経営に大きな影響を及ぼしました。また、人口減少、過疎化による地域の衰退といった社会的な環境についても、大きな変化を迎えており、これらの状況に対応するため、ICT（情報通信技術）

やAIを活用し、新しい養殖技術の獲得・向上に向けた取組み等が各地で行われています。

このような情勢のなか、当連合会の経営状況は、経常利益一〇四百万円（事業計画対比＋四三三百万円）、当期剰余金一六六百万円（同比＋七二九百万円）の実績となりました。また、貯金・貸出とともに統一キャンペーンを実施し、浜に出向く体制の構築と漁業金融機能の強化に取組むことで貯金七一六二億円（同比△一九三億円）、貸出金一四三五億円（同比＋一四億円）の年度末残高となりました。事業管理費については、物価高による影響もあり五五四百万円（同比＋一四百万円）の着地となりました。

次年度は福島県信漁連との合併により更なる事業基盤の強化を図ります。また、地区ブロック運営体制の構築に向けた検討を深め、経営の効率性向上を目指すとともに、漁業者・会員の皆様への金融サービスの向上に努めてまいります。

【貯蓄推進業務】

年二回の貯蓄キャンペーンを中心に貯蓄推進活動を展開したものの、市中金利上昇等の影響を受け、年度末残高七一六二億円の実績となりました。また、下期貯蓄キャンペーンでは寄付金型定期貯金を販売し、お預かりした実績の〇・〇二%相当額を（公財）漁船海難遺児育英会へ寄付しました。

【貸出業務】

浜に出向く体制として、役職員一体となって利用者への訪問活動を積極的に実施するとともに、会員漁協や大規模漁業者への大口資金需要への対応や、生活ローンの統一キャンペーン推進等に取組むことで、年度末残高一四三五億円の実績となりました。



日本漁船保険組合 新潟県支所

日本漁船保険組合新潟県支所の事業実績等報告会が六月二十三日に新潟県水産会館で開催されました。

◎事業の概要

令和七年度は、国際情勢の不透明感や物価上昇、燃油・資材価格の高止まりなどにより、漁業経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありました。一方で、観光やインバウンド需要の回復に伴い、水産物の消費拡大など明るい兆しが見られています。こうした中、漁船保険組合では、漁家経営を支える制度としての役割を果たすため、令和八年度も特別準備金を活用した各種支援事業を継続してまいります。

◎保険事業

普通保険の加入隻数は二、一九五隻で前年比三二隻減、保険金額は一一五・六億円で五・六億円の減、純保険料は約一・四三億円で

一三八万円の減少となりました。主な要因は、漁業者の高齢化や漁船の高船齢化に伴う廃業等によるものと考えられます。支払保険金は三〇四件で前年比六件の微増、支払額は約一・二六億円と、概ね例年並みの水準となりました。

漁船船主責任保険（基本損害）

の加入隻数は普通保険と同じく二、一九五隻、保険金額は約四、五五二・五億円で前年比六九・七億円の増となりました。一隻当たりの平均保険金額は約二億円で、全国平均の約六・七億円との差は依然として大きく、引き続き保険金額の増額推進に取り組んでまいります。

◎特別準備金を活用して実施した事業

事故防止対策事業では、令和三年度から令和五年度までの保険期間中に無事故であった漁船への無事戻金の支払いを行ったほか、漁船保険帽子の配布、県内二地区での事故防止講習会を実施しました。また、佐渡地区の七十一隻を対象に機関の整備点検を実施し、

費用の全額を支給したほか、AIS搭載船三十七隻に対して保険料の一部を助成しました。普及宣伝事業では、新潟市および佐渡市で漁協担当者研修会を開催し、継続加入者へ標語入りタオルを配布しました。

◎令和八年度事業計画

令和八年度の普通保険の引受目標は二、一四三隻、保険金額一一四・六億円といたしました。加入隻数は、廃業等による自然減を踏まえ、前年度比で概ね三％の減少を見込んでおります。本年度も、自然災害への備えとして未加入船への加入促進を進めるとともに、事故防止や設備支援などを通じて、漁業者の安全操業と経営の安定を支えてまいります。

最後に、漁船保険事業は、漁業協同組合をはじめとする関係機関の皆様、漁船の整備、修繕に携わる皆様のご理解とご協力により支えられております。今後とも、関係者の皆様と連携しながら、本制度の使命を果たし、漁業の持続的

発展に貢献できるよう一層努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国漁業信用基金協会 新潟支所

全国漁業信用基金協会の通常総会が、六月三十日に東京都台東区の(株)オーラムで開催されました。

全国組織では、令和七年度第二回理事会で、令和十二年七月までに支所統合を終えることを決議しました。北陸ブロックでは、新潟、富山、石川、福井の各支所が令和九年七月に統合し、令和十年九月には北陸支所(金沢市)と新潟出張所の二カ所に再編することが、各支所の運営委員会で承認されました。現在、統合に係る業務や課題等の調整を進めています。

令和七年度の国内経済について、賃金は上昇したものの物価上昇で実質賃金がマイナスとなり、景気は伸び悩み結果となりました。一方、国外ではウクライナや中東情勢に加えて日中関係の悪化等によって、先行き不透明な状況が続いています。

国内水産業では、魚価は前年並みの高値で推移しましたが、燃油や漁業資材の高騰等によって、厳

しい経営環境が続きました。また、海水温の上昇や黒潮大蛇行の終息によって、魚種や漁場等が変化し、これらへの対応が急務となつていきます。一方で、「クロマグロの再放流」や「小型イカ釣り漁業の採捕停止」が操業に影響し、資源管理の難しさが問題になりました。

本県水産業では、資源の減少、後継者不足等の課題はあるものの、ほぼ前年並みの水揚額(属地)を維持しました。魚種別では、クロマグロは増加したものの、スルメイカ、秋サケ、寒ブリが三年続けて不漁になり、特に秋サケは増殖事業の継続が危ぶまれる状況になっていきます。また、温暖化によって北方系魚種が減少傾向となり、これらを漁獲している漁業者にとつて厳しい状況が続きました。

このような中で、新潟支所では、後継者や新規就業者、加えて経営改善や海洋環境の変化に際した取組等について、漁業者に寄り添った支援を継続し、金融機関と協力して本県水産業の振興に寄与してまいります。

新潟支所の事業概要

令和七年度は、前年度と比べて保証件数が八件減少して八十四件となり、保証額は四千三百九十五万円減少して三億六千五百三十四万円となりました。一方で年度末の保証残高は、前年度より二十四百二十九万円増加して十九億九千八百四十九万円となり、平成年代以降の最高額を更新しました。

保証料収入は前年度より三十六万円増加して千三百八十五万円となり、有価証券の運用益収入は前年度より二万円増加し千四百九十一万円となりました。

求償権は、ほぼ計画どおり四十五万円を回収し、年度末の求償権残高は千八百九十五万円となりました。

費用面では、施設費等が増加したものの、職員に係る経費が減少したため、事業管理費が前年度より四百五十二万円減少しました。また、令和七年度に計画していた代位弁済が令和八年度に持ち越されたことによって、当期剰余金を百十八万円計上することができました。

新潟支所の組織体制

六月三十日の通常総会及び翌日の理事会において新役員が選任され、新潟支所から副理事長が選ばれました。また、支所運営委員の改選も行われ、次のとおり理事長から委員の委嘱がありました。

《職員》

副理事長 安澤 弥

課長 一箭 義貴

主任 高橋 亜子(昇任)

《運営委員会》

運営委員 寺尾 和弥

〃 本間 智晴

〃 小林 友衛

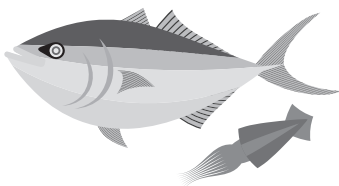
〃 末武 嗣朗

〃 樋口 雄一

〃 富樫 聡

〃 本間 勉

〃 大門 燈一



(公社)新潟県水産振興協会

六月二十三日、水産会館において、総会を開催しました。上越市漁協の仲田組合長が議長となり、全議案が承認されました。その中で、役員の補欠選任も承認され、次の役員体制となりました。

専務理事	寺尾 和弥(漁連会長)
専務理事	藤田 利昭(員 外)
理 事	本間 智晴(新潟県)
〃(新)	伊藤 幸夫(村上市)
〃(新)	古平 明(糸魚川市)
〃	末武 嗣朗(佐渡市)
〃	内藤 良治(出雲崎町)
〃	葛西 澄人(大倉漁業)
〃	磯谷 光一(上越漁協)
〃	土屋 貞男(新潟漁協)
〃	水野 信明(姫津漁協)
〃	村山 賢二(内漁連)
〃	皆川 雄二(魚沼漁協)
〃	丸山チカ子(県女性連)
監 事	小林 友衛(新潟市)
〃	小池 正容(内浦漁協)
〃	佐藤 克雄(三面川漁協)
〃	岡田 成弘(員 外)

◇事業概要と決算

当協会の業務は、「栽培漁業の推進」、「漁港漁場整備の促進」、そして「水産振興基金の運用益を活用した助成事業」の三つの柱で構成されています。

栽培漁業では、令和七年度もヒラメ、アユの種苗生産・配布・放流、アワビ、サザエ、クルマエビ種苗の幹旋・放流を行いました。

ヒラメについては、村上事業所で生産した全長五〇～八〇mm以上の種苗約二〇万尾を県内の漁協等に配布・放流しました。また、北海道から富山県までの広域資源造成支援事業を受託し、共同で六万尾の種苗を放流しました。

アユについては、内水面の関係漁協に中間育成用の種苗一三六万尾を出荷しました。

その他、アワビ種苗二十七万个、サザエ種苗七万个、クルマエビ種苗十一万尾を県外から購入し、漁業関係者に配付しています。

漁港漁場整備に関しては、北日本地区漁港漁場協議会を新潟県で開催しました。水産庁、全国協会

及び秋田県から石川県までの関係者約四〇名が参集し、国への要請等を協議しました。下関市で開催された全国漁港漁場大会には、会長はじめ五名で出席しました。そして、十一月には漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する提言を国へ要請することができました。その他に、県内各地で、漁港や漁場そして海岸の清掃活動に取り組んでいる団体を支援する事業も引き続き行いました。

基金の運用については、不安定な金融情勢の中でしたが、円安が継続したこと、高利回りの商品を購入したことなどにより収益が大幅に増加しました。運用・売却益は昨年より千四百万円多い、七千八百万円余りとなりました。

しかし、今後も厳しい経済状況が続くものと思われることから、この収益は、公益目的事業継続準備資産として積み立てることとしました。また、この運用益を活用した助成事業に関しては、これまでどおり漁協指導、魚食普及の推進、漁場環境の保全や漁業後継者育成に携る団体、コロナ対策に取

り組む団体に助成しています。これに加え、例年どおり、サクラマス資源の増殖活動に対する助成事業も実施しました。

以上の取組みを実施する中で、令和七年度の決算は、経費の節減、基金の運用が順調だったことから、栽培漁業にかかる物価高騰などにより経費が増大したものの、昨年に引き続き、経常収支は黒字となりました。

令和八年度においても、不透明な経済情勢の中で収支予算の見込みがたちにくい状況ですが、七年度と同様の事業に助成する計画です。水産業界全体が厳しい状況にあります。本協会の使命である本県水産業の振興に寄与するよう効率的な運営に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



全国合同漁業共済組合

新潟県事務所

全国合同漁業共済組合 新潟県事務所の実績等報告会は、去る六月二十三日、「新潟県水産会館」大会議室において開催されました。

(事業概況)

令和七年度の本県を取り巻く漁業状況は、主要魚種であるブリ・サケ等の不振、スルメイカの採捕停止命令、またクロマダゴの下げ止め特例が段階的に廃止されることなど大変目まぐるしい年度となりました。このような中、「ぎょさい」と「積立ぷらす」は漁業者に十分認知されてきておりますが、より一層の浸透と定着を期し、国・地方自治体・漁協系統団体との連携を更に強化し、組織一丸となって積極的な普及推進に取り組みました。

この結果、漁業共済の契約実績は共済金額で約五十三億二千万円（前年対比九十六％ 一億九千九百万円の減少）となりました。ま

き網漁業、かにかご漁業、えびかご漁業での休廃業や主力魚種の不漁からくる自然減の影響で伸び悩む厳しい年度となりました。積立ぷらすの引受実績は、漁業者積立額約四億四千四百万円（前年対比九二％）で約三千八百万円の減少となりました。昨年度から引き続き大変な年度ではありましたが、漁業者の皆様のご理解と関係各位のご支援並びにご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

一方、支払いの状況は、漁業共済全体で約一億六千万円（前年対比九十一％ 約一千六百万円の減少）と減少傾向となりました。漁獲共済の支払いでは、定置漁業で主力魚種であるブリ・サケの不振が依然として続いており支払額が高止まりしている状況となりました。積立ぷらすの払戻は、払戻額約十億二千万円（前年対比七五％）となり漁業共済と積立ぷらすの支払いを合わせると十一億八千万円と大きな額となりました。今後も主力魚種の不漁や異常気象の影響、燃油の供給不安、資材の

高騰など安心できない状況は山積しておりますが、少しでも漁業経営の助けとなるよう、より良い制度の実現に向けて取り組んで参りますのでこれからも皆様の変わりぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(基本方針)

我が国の漁業は、気候変動や国際情勢の変化等の影響もあり、主

要魚種の資源減少や養殖水産物の大量斃死、漁業就業者の減少や高齢化、頻発する自然災害、外国漁船の違法操業、燃油・飼料価格の高止まり等、多くの課題に直面しています。さらに直近では、イラン情勢を受け燃油の価格や安定供給に不安が生じており、漁業経営や漁協・漁村は依然として不安定な状態が続いております。また、ALPS処理水の海洋放出に伴う中国等による水産物の輸入制限措置については、中国は自国の食品安全基準に合致した日本産水産物の輸入を再開するとしたものの、その後の日中関係の悪化により再び停滞し、依然として不透明な状

況にあります。

このような厳しい漁業環境を踏まえ、国は漁業経営を支える「漁業収入安定対策事業（積立ぷらす・掛金追加補助）」に対して前年度の三百八十五億円に続き、令和七年度補正予算と令和八年度予算で計三百四十三億円を確保し、基金の積み増しを行ったところであります。

国は水産基本計画に基づいて、漁業においては、TAC魚種の拡大やIQ管理の導入を図ると同時に、複数の漁法等による複合的な漁業への転換を含む漁船漁業の構造改革を進めようとしています。

このような状況を踏まえ、「ぎょさい」については、令和七年五月に漁業災害補償法が改正・公布され、政省令告示改正とともに令和七年十月及び令和八年四月から施行、制度の持続的かつ安定的な運営の確保と漁業を取り巻く状況の変化に対応するため、二以上の漁業種類を一括して対象とする複合漁業契約方式や、共済の対象となっていない漁業の生産金額を主契約の生産金額に算入することが

できる生産金額追加特約を創設したほか、養殖共済においては網いけす単位での損害状況に応じて支払う特約などの新たな補償の仕組みが創設されたところであります。一方、「積立ぶらす」については「クロマグロの下止め特例」が令和七年度から段階的に廃止されていることへの見直しに引き続き対応していく必要があります。

（事業計画）

引き続き、普及推進を展開するものとし、本年度加入計画「ぎよさい」で共済金額 五十六億六百万円、「積立ぶらす」で漁業者積立額 四億四百万円を設定し、その達成に向けて取り組んで参ります。

今後も、厳しい漁業環境が続くと思われませんが、「ぎよさい」と「積立ぶらす」の果たす役割への漁業関係者の期待は引き続き非常に高い状態にあります。漁業経営のセーフティネットとしての機能が十分に発揮できるよう、国、地方自治体、漁協系統、漁業者団体との連携を図り、より一層浸

透・定着させ、漁業経営の安定に貢献していけるようご理解とご協力をお願い申し上げます。



発泡スチロール容器の特徴

保冷・保温、保護効果、軽量、防水、成型が容易、省資源の6つの特徴があります。発泡スチロールはリサイクル特性に優れ、生産から再利用までのプロセスでエネルギー消費も少ない持続的発展が可能な循環型社会に適応した素材です。

主な取り扱い製品

水産物用製品

- ・鮮魚用発泡スチロール容器
- ・活けす函・マグロ保冷輸送箱

加工食品用製品

- ・加工食品用発泡スチロール容器
- ・お土産用発泡スチロール容器

農産物用製品

- ・青果用発泡スチロール容器
- ・アスバガス用発泡スチロール容器
- ・水耕栽培定植パネル
- ・イチゴ高設栽培ベッド

その他製品

- ・各種包装資材・漁業フロート



株式会社 羽村 新潟営業所

新潟営業所 〒950-0078 新潟市中央区万代島1番8号(北冷ビル 株式会社内)
TEL (025)278-7376 ・ FAX (025) 278-7393

本社 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1丁目17番19号 リックス丸の内ビル3階
TEL (052)221-5411(代) FAX (052)221-6933

(営業所) 道央・道南・道北・道東・青森・宮城第一・宮城第二・関東・銚子
東京・神奈川・静岡・四国・名古屋・大阪・北陸・三重・広島
福岡・長崎・鹿児島

新潟県JF共済推進本部

六月二十三日、新潟県水産会館において、新潟県JF共済推進本部第三十回定例総会が開催されました。

議事に先立ち、「がんばろう北陸浜の応援団」キャンペーンについて報告しました。本キャンペーンは、被災された漁業の復旧・復興支援を目的として取り組んできたもので、昨年度をもって終了しました。主力共済である「チョコー」および「くらし」の新規契約一件につき百円を義援金として拠出し、全国の皆様から多くのご協力をいただきました。県内では昨年度に約四十三万円を漁業士会へ贈呈し、本年度も約四十五万円を贈呈する予定です。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も被災地に寄り添いながら支援を続けてまいります。

総会では、土屋推進本部会長が議長を務め、令和七年度事業報告および令和八年度事業計画につ

て審議されました。

第一号議案の令和七年度事業報告では、長期共済の新規実績が二十七億二千二十万円となり、保有高二百五十九億二千九百九十万円を確保したことが報告されました。また、「浜の笑顔を共済とともに」JF共済三か年計画の最終年度として、「浜のあんしんサポート運動」を中心に、既契約者への保障内容の確認や契約内容の適正化に取り組みました。短期共済は三百四十九億三千二百三十六万円となり、支払共済金は事故共済金や満期共済金、ねんきん給付を合わせて七億七千四百六十二万円となりました。さらに、長期・短期共済の払込掛金総額は五億七千六十六万円余りとなり、漁協への付加収入として二千九百六十八万円余りを交付し、組合員の暮らしの保障と漁協経営に寄与しました。

第二号議案の令和八年度事業計画では、「みんなといっしょに浜の未来へ JF共済三か年計画」の初年度として、組合員・地域住民一人ひとりに寄り添った保障提

案を通じ、新規加入の拡大と保障内容の充実を進めます。また、その中心施策として二〇二五～二〇二九年度JFグループ運動方針として機関決定された「浜のあんしんサポート運動」を継続・定着させ、全戸訪問による保障点検やライフプランに基づく提案を実施します。

具体的取り組みとして、JF・推進本部・JF共水連が一体となり、八月一日の改正チョコーを基軸に、「終身共済ファースト」の推進をはじめ、こども共済および医療・介護保障の重点推進、推進体制の強化と人材育成の充実に取り組みとともに、PDCAサイクルによる進捗管理を徹底し、事業量目標の必達と保有契約量の維持・拡大を図ります。さらに、「月次数量・行動計画管理の徹底」を着実に実践することで、事業量目標の達成はもとより、JF共済事業の健全性および信頼性の一層の向上に努めてまいります。

最後に、JF共済は創設七十五周年を迎え、『ありがとう 浜と歩んだ七十五年』これからも広がる

共済の輪のもと、次の百年に向けて歩んでまいります。

両議案はいずれも原案どおり承認され、今後も組合員および地域住民の暮らしの保障（補償）の充実に努めるとともに、JF共済の普及推進活動を積極的に展開していくこととなりました。



魚のたんぱく質と脂肪は、健康（長寿）の源

新潟県漁業士会

令和八年度新潟県漁業士会の通常総会が四月十一日（土）新潟県水産会館で開催されました。

石見会長の挨拶後、本間水産課長から来賓挨拶をいただき、議長に新潟漁協出雲崎支所所属の坂下博孝漁業士が選任され議案の審議が行われました。

第一号議案「役員選任について」、二年間の任期が終了し新役員体制となりました。（後記）

第二号議案「令和七年度事業報告及び収支決算について」、第三号議案「令和八年度事業計画及び収支予算（案）」について「審議され全議案が原案通り可決されました。

また、令和八年度は日本海ブロック漁業士研修会の幹事県として担当することから県内漁業士の積極的な参加が促されました。

議案の終了後、研修会として、オーシャンソリューションテクノロジー様から『漁業現場における落水検知IoT機器の活用と海上

安全高度化への貢献」、株式会社タイミー様から『現場がラクになる！漁業者のためのタイミー活用術』と題して講演が行われました。

〈新役員〉

会 長	久保田秀長
副会長	本間 浩二
副会長	寺尾 拓弥
幹 事	坂下 博孝
幹 事	脇坂 聡
幹 事	山口 大喜
監 事	中村 勇介
監 事	齊藤 洋佑



新会長
久保田秀長さん

新潟県小型いか釣漁業協議会

新潟県小型いか釣漁業協議会の通常総会が四月十一日（土）新潟県水産会館で開催されました。

第一号議案「令和七年度事業報告及び収支決算について」、第二号議案「全国いか釣漁業協議会の一般社団法人化に伴う加入（案）」について、「第三号議案「令和八年度事業計画（案）」及び収支予算（案）」について、「第四号議案「役員改選（案）」について」協議が行われ原案どおり承認されました。

全国いか釣漁業協議会の一般社団法人化への移行については、令和七年度に太平洋側で漁獲量が急激に積みあがったことで、小型いか釣り漁業のTAC枠が超過したことから十一月より採捕停止命令が発出され、本県も冬期いか釣りの操業を断念せざるを得ない状況となりました。

これを受け、今後はTACの迅速かつ正確な報告や行う事業の明確化による業務体制の整備、責任体制の明確化等組織を強化する必

要があるため現行の全いか協を發展的に改編し、一般社団法人として位置付け組織体制の在り方を改めることとしております。

また、令和七年度は山形県、富山県、石川県、本県で構成される四県合同会議の幹事県として、三年ぶりに現地開催とし、二〇二六年度操業自主規制に関する同意書について協議が行われ、全国での取り決め事項を反映する形で変更され承認を得られました。

令和八年度漁期も引き続き漁獲量の積み上がりを注視していく必要があることからスルメイカTACの十日毎の報告にご協力いただきますよう宜しくお願いします。

〈新役員〉

会 長	村尾 長則
副会長	本間 勉
副会長(新)	弾正 明良
幹 事	仲田 紀夫
幹 事	津畑 和義
幹 事	脇坂三重城
幹 事(新)	白瀬 忠文
幹 事	堺 康成
幹 事	森川 敏幸

漁業資源を守る会

第一回役員会

四月二十一日(火)新潟漁協岩船港支所において、令和八年度漁業資源を守る会の第一回役員会が開催され、来賓として新潟県水産課、新潟県水産海洋研究所から三名のご臨席を賜りました。

第一号議題「令和七年度事業報告並びに収支決算について」、第二号議題「令和八年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、第三号議題「役員改選について」第一号議題から第三号議題の全議題について原案どおり承認されました。

役員会の中で水産海洋研究所池田主任研究員より、昨年に続き「下越海域における赤アマダイの成長と漁獲状況について」や主な底魚類等の稚魚調査や漁獲動向についての説明がありました。また、昨年より試験的に改良型の板曳網を運用している地域から情報提供があり、各々の地域についても漁獲動向等の意見交換が盛んに

されたことで有意義な会議となりました。

最後に本会より中東情勢の緊迫化における国内石油情勢について説明及び、JFグループにおける漁業用燃油の安定的な確保について説明し、本役員会を終了いたしました。

また、原案にありました役員改選については、各漁協より十三名が推薦され次の通り新役員が選任されました。



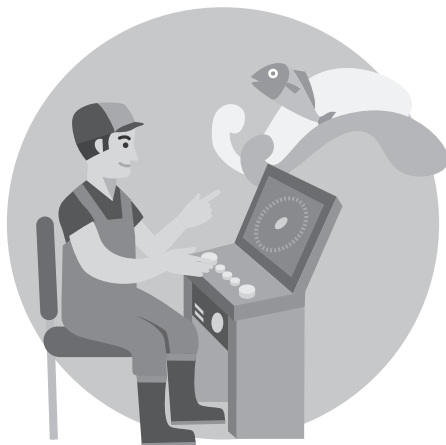
新会長
さいとう 洋佑さん
しげうすけ

《新役員》

会長	齊藤 洋佑
副会長	島村 榮一
副会長	鈴木 翔太
副会長	本間 明治
幹事	東海林 真人
幹事	井村 大洋
幹事	高木 貴弥
幹事	三須 雅貴
幹事	松門 良一

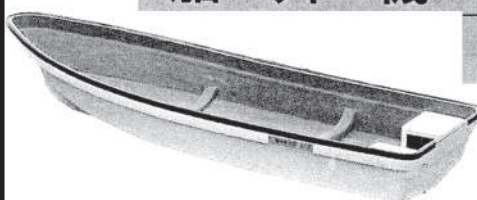
幹事	本間 満広
幹事	神丸 俊夫
相談役	渡邊 裕太

今後は新体制の基、下越地区板曳漁業の相互の親睦及び研鑽を図るとともに自らが資源管理型漁業の促進に寄与し活動していきます。



TOHATSU

船外機 4ストローク
トーハツ和船



(株) マ リ ン 商 事
〒951-8011 夕奈ムラマリーナ
新潟市中央区入船町4-3776-22
TEL 025-228-2745

人 事 往 来

新潟県水産関係人事異動（令和 8 年 4 月 1 日付）

[水産課]

新 所 属	旧 所 属	氏 名
課長補佐兼漁港課長補佐	国際観光推進課 課長補佐	川 崎 誠
副参事（団体・企画係長）	内水面水産試験場 資源課長	吉 田 友 和
副参事（調整係長）	新潟海区漁業調整委員会 書記長代理	岸 原 達 也
団体・企画係 主査	主査（村上駐在所）	石 本 綾 子
調整係 主任	農業総合研究所食品研究センター 主任研究員	小 林 将 也
弥彦丸 通信長	水産海洋研究所越路丸 通信長	小 嶋 誠 武
内水面係 技師	佐渡地域振興局農林水産振興部 水産業普及指導員	安 藤 悠 太
内水面係 技師（新採用）		岩 淵 敦 也
団体・企画係 技師（新採用）		渡 辺 慧

[漁港課]

新 所 属	旧 所 属	氏 名
課長	糸魚川地域振興局地域整備部 部長	吉 田 仁 史
副参事（計画建設係長）	佐渡地域振興局地域整備部 河川・砂防課課長代理	増 田 宏
管理係 主査	農業総務課団体指導検査室検査第 1 班 主査	土 肥 広 明
管理係 主事	環境政策課 主事	丸 山 梨 奈
計画建設係 技師（新採用）		羽 深 春 彦

[水産海洋研究所]

新 所 属	旧 所 属	氏 名
海洋課長	佐渡地域振興局農林水産振興部（水産庁舎） 振興課長	野 瀬 哲
増殖環境課長	水産課 副参事（団体・企画係長）	大 西 健 美
総務課 主査	工業技術総合研究所総務課総務係 主査	大 西 洋 介
越路丸 通信長（兼水産海洋研主査）	水産課 弥彦丸通信長	山 口 浩 志
増殖環境課 主任研究員	内水面水産試験場 主任研究員	中 嶋 一 恵
漁業課 主任研究員	増殖環境課 主任研究員	片 野 慶 一

[農業総合研究所食品研究センター]

水産加工食品科 技術専門幹	佐渡地域振興局農林水産振興部 副部長	海老名 秀
---------------	--------------------	-------

[内水面水産試験場]

新 所 属	旧 所 属	氏 名
資源課長	水産課 副参事（調整係長）	渡 邊 泰 生
総務課 主任	長岡地域振興局健康福祉環境部	近 藤 和 男
養殖課 研究員	水産課内水面係 技師	上 村 佳 正
資源課 研究員	水産課団体・企画係 技師	川 上 諒 人

[佐渡地域振興局 農林水産振興部]

新 所 属	旧 所 属	氏 名
副部長（水産振興担当）	水産海洋研究所 増殖環境課長	佐 藤 智 則
振興課長	漁港課 計画建設係長	池 田 大 悟
主事（水産）	地域整備部 主事	高 野 智 耶
水産業普及指導員	内水面水産試験場資源課 研究員	梅 田 樹

[転出者]

新 所 属	旧 所 属	氏 名
教育庁福利課 課長補佐	水産課課長補佐兼漁港課長補佐	大 滝 信 道
工業技術総合研究所中越技術支援センター 主査	内水面水産試験場総務課 主任	木 村 和 浩
佐渡地域振興局農林水産振興部林業庶務課 庶務係長	佐渡地域振興局農林水産振興部漁政課 主査	原 大 和

[退職]

旧 所 属	氏 名
漁港課長	高 橋 昌 芳
参事（海洋課長）	梶 澤 秀 行
水産課 副参事	山 口 裕 昭
漁業課専門研究員	丸 山 克 彦
水産海洋研究所総務課 主査	大 塚 美 紀
水産課弥彦丸 船舶員	入 口 博 人

新採用職員紹介(普及担当)

農林水産部

水産課 団体・企画係
技師わたなべ さとる
渡辺 慧

この4月より水産課団体・企画係に配属となりました、渡辺慧(わたなべさとる)と申します。今年度からの新採用であり、まだ右も左も分からない状況ではありますが、係や課内の方々にご指導いただきながら、水産指導普及員として県の水産業の発展に貢献できるよう、日々精進しながら業務に励んでおります。

出身は糸魚川市で、日本海が身近な環境で育ったことから、海や水生生物に自然と興味を抱くようになりました。小学生の頃は、授業が終わると友人と海へ遊びに行くことが日常であり、その頃に芽

生えた海への関心は冷めることなく、大学でも水産関係の学科に進学し、より専門的に学びを深めてまいりました。大学では、養殖魚に発生する疾病に対するワクチンの研究に取り組み、魚類の体内における免疫の仕組みを解明することと力を注いでいました。研究生活を通じて培った「気になることはとことん追究する姿勢」は、今後の業務においても必ず活かせるものと考えております。

まだまだ未熟ではありますが、一日も早く皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



県指導普及員紹介

佐渡地域振興局

農林水産振興部(水産庁舎)
振興課長いけだ だいご
池田 大悟

この四月より、新しく佐渡地域振興局水産庁舎の振興課に配属となりました、池田大悟です。佐渡での業務は、新採用だった平成十四〜十七年度の四年間、水産庁舎で普及員として勤務して以来、約二十年ぶりとなります。初めての単身赴任で不安もありましたが、以前勤務していた頃の顔なじみの漁師さんや漁協の職員さんがいらっしゃるので、とても心強く感じています。

前任は農林水産部漁港課計画建設係で、漁港整備に関する計画策定や事業全般に関する業務を担当していました。佐渡に限った話で

はないですが、漁業者の減少や高齢化に伴い、漁港を利用する漁船数も減少の一途をたどっています。このような中、豊かな自然や漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かした「海業」の取組の促進が求められています。

海業とは、「海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外から多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの」(水産庁ホームページより引用)であり、漁港においても、地域の理解と協力の下、漁業上の利用を確保した上で、漁港施設等を有効活用できるように、漁港施設等活用事業などの事業が新たに創設されています。

佐渡は、四方を海に囲われ、豊かな自然環境に恵まれており、海業にとっては非常に魅力的な島だと感じています。水産庁舎では、今年一月に地域おこし協力隊に着任された船橋さんと連携して、佐渡地域における海業の振興を推進していく所存です。「海業に新たに取り組むたい」、「現在の取り組

みをさらに拡大していきたい」などご意見やご要望がありましたら、ぜひご相談ください。

**佐渡地域振興局
農林水産振興部(水産庁舎)
振興課 水産業普及指導員**



うめ た い つ き
梅 田 樹

新年度から佐渡水産庁舎に配属になりました梅田 樹(うめた いつき)と申します。佐渡水産庁舎は二つ目の勤務地であり、浜プラン、舳いプロジェクト、担い手に関連する業務が担当になります。出身は、秋田県北部にありますが能代市というところです。能代市は自然豊かな場所で、小さい頃は、市内を流れる米代川で川魚を追いかけてたり、海で生き物観察や釣りをしたりなど活発に過ごしておりました。

自然豊かな場所で育ったことや、もともと海の生き物に興味があ

ったこともあり、高校卒業後は新潟大学の理学部に進学し、生物学について主に学んでおりました。研究室配属後から同大学大学院の修士課程修了までは、佐渡島の砂浜の中で生活している無脊椎動物を対象とした研究に取り組んでおりました。研究を通しては、辛抱強く取り組むことや目標達成に向けた取り組み方を学びました。そのような学びは仕事に就いてからもいかされていると感じています。

新採用時は長岡市にある内水面水産試験場の資源課に配属になりました。担当魚種はアユで、それまでの自分にとってなじみがあまりない魚種であったため、諸先輩方の助けも得ながら精進しておりました。仕事を通してアユの友釣りをはじめ、他にはない引きを楽しんでいます。

佐渡水産庁舎に異動となり、フィールドは内水面から海、職種も研究から行政と変わりましたが、水産振興のために働く点は変わりません。関係者の皆さまの力もお借りしながら、より県の水産

振興に貢献できるように取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願ひします。



ギョレンオイル
大漁
シリーズ



人事往来

系統団体人事異動

[信漁連]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和8年3月1日付	本店総合企画部長	統括支店長兼業務部長	市橋 康 晴
	統括支店長兼業務部長	業務部次長	清 水 裕
	業務部次長代理	業務部調査役	宇 沢 剛 志
	総務部次長代理	総務部調査役	広 川 隆 俊

[基金協会]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和8年7月1日付	副理事長	執行役員	安 澤 弥
令和8年4月1日付	主任	主事	高 橋 亜 子

[共水連]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和8年7月1日	契約職員	—	鈴 木 珠 生

系統団体職員紹介

公益社団法人新潟県水産振興協会

おざき けいた
尾崎 敬太

令和八年四月より採用していた
だき村上事業所で勤務しております。

出身が兵庫で今まで水産に関
わったことがないため、仕事も新
潟県での暮らしも初めてなことが
多く、毎日新しい色々な体験を多
くの方に助けていただきながら取
り組んでおります。

生き物相手の仕事ですので、一
つのミスが大きな問題につながる
ことから、思うようにいかないと
ころや難しいところはたくさんあ
ると思いますが、確実に少しずつ
でも業務をこなし、皆様のお役
に立てるように精進してまいり
ますので、ご指導ご鞭撻のほど

よろしくお願いいたします。頑
張ります！

東日本信用漁業協同組合連合会

新潟支店

こんの みゆ優
今野 美優

令和七年十二月に東日本信用漁
業協同組合連合会に入会し、新潟
支店で勤務しております今野美優
と申します。

入会後、半年ほど経ちました
が、まだまだ不慣れなことも多
く、ご迷惑をおかけすることあ
るかと思えます。

一日でも早く先輩方に追いつけ
るよう日々努力し、組合員・利用
者の皆様から信頼される職員とな
れるよう努めてまいりますので、
ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお
願いいたします。

合成洗剤追放運動を地域ぐるみで実行しよう

祝 新造船建造

越前水産株式会社

代表取締役 越前 隆夫

漁船名 第七十五越前丸

トン数 十九トン

漁業種類 定置網漁業

竣工おめでとうございます。

大漁・航海安全を心よりご祈念
申し上げます。



漁業用燃油の安定的な確保を求める緊急漁業代表者会議 及び自民党水産政策推進議員協議会・懇談会出席について

JF全漁連は四月八日、東京都千代田区の都道府県会館で混迷を

極める中東情勢を受け、「漁業用燃油の安定的な確保を求める緊急漁業代表者会議」を開催し、JF全漁連・坂本会長は燃油高騰に直面して直接行動を起こした二〇〇八年当時の全国一斉休漁に言及、「それ以上の危機ではないかと思う」と声を上げた。

漁協系統を統べる組織として燃油や資材を「急激な値上げを防ぐ形で供給する使命がある」と述べ、「漁業者一丸となり、うろたえることなく漁業生産を続けながら窮状を訴えていきたい」と決意表明した。

会議には、自民党水産政策推進議員協議会の鈴木俊一会長と浜田靖一幹事長が参加、漁業のランニングコストはほぼ燃油が占めているという現状に寄り添い、「漁業

者の皆様の声を受け止めて全力で汗をかく」を約束した。

当日は、水産庁の藤田仁司長官や資源エネルギー庁から情勢報告を受けた後、「漁業用燃油等の安定的な確保を求める緊急決議（案）」を満場の拍手で採択し、坂本会長から鈴木会長に要望書を手渡されました。

本会より寺尾会長と五十嵐専務が出席し、後日新潟県選出自民党国會議員六名に対し、本県漁業が抱える窮状の説明とこの度の要望について陳情活動を行いました。

また、中東情勢についてはホルムズ海峡の封鎖やそれらによるナフサの供給不安に伴い度重なる値上げや出荷調整等を余儀なくされておりますが、会員の負託に応えられるよう引き続き仕入れ先との交渉を重ね安定供給に努めてまいります。

本件に係る会員漁協からの説明等ご要望があれば本会役職員が積極的に対応させていただきますので、今後一層のご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。



※自民党水産政策推進議員協議会
懇談会の様子

写真(左) わしお 英一郎

衆議院議員

写真(右) 寺尾会長

令和7年度

浜の活力再生プラン

優良事例表彰について

水産課 団体・企画係

このたび令和八年三月十一日に水産庁にて標記表彰が農林水産省本館七階講堂で開催され、新潟県から『長岡・寺泊地域水産業再生委員会』の取組が農林水産大臣賞、水産庁長官賞に次ぐ、全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞しました。

受賞のポイントとしては、同地域での神経締めブランド「寺神」の普及と技術向上に積極的に取り組むことによって魚価の向上、販路拡大に結び付けていることが高く評価されたほか、近年漁獲されるようになってきているエソなど低・未利用魚の活用などさまざまな取組を推進している点も評価されました。

また、ネット販売やふるさと納税の返礼品としての水産物の供給、地域一体での水産物のPRなど連携した取組が地域そのものに活力をもたらしているという点も含めて、優良事例とされておりますので、皆様も参考にされ、各地域の取組に活かしていただければ幸いです。

※受賞内容は「浜プラン優良事例表彰受賞事例」で検索してご確認いただけます。



写真 表彰式の様子

(前列右から

四人目 寺泊漁協・青木組合長
五人目 全漁連・坂本会長

共栄火災



サイ吉

人々が気持ちよく毎日を暮らせるよう、安心のチカラでそっと支えるサイ。共栄火災のサイ吉です。

夢を、未来を、
ずっと近くで支えたい。

隣にいる誰かと、家で待つ誰かと、未来で出会う誰かと。

人はみんな、あらゆるつながりの中で暮らしています。

そのつながりが、もっと身近なものになれば、

人生はずっと豊かなものになる。

共栄火災は、確かな安心のチカラで、

そんなあなたの毎日を応援します。

それが、地域を支え、暮らしに役立つ保険会社としての、

私たちの使命だから。

つながり強化宣言！ 共栄火災

まるまるそろった安心と、わかりやすさを。
めざしたのは、つつみこむような自動車保険です。

総合自動車保険 KAP **くるまる**

JF共水連(全国共済水産業協同組合連合会)との連携強化：損害保険分野において、優れた補償の提供とサービスの向上を図るために、JF共水連との連携強化を継続してまいります。

共栄火災海上保険株式会社 【中央支店新潟支社】

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビルディング 18F
TEL.(025)246-2018

www.kyoeikasai.co.jp

善意の募金

ありがとうございました

令和七年度漁船海難遺児募金として次の方々から善意の募金を戴きました。

合計二六六、七六七円を漁船海難遺児育英会に送金させて頂きました。

● 内田 鉄治

一〇五、〇〇〇円

● 佐渡さかなまつり実行委員会

八五、八九七円

● 南浜朝市

二三、一八五円

● 新潟漁協西蒲支所

一、六七二円

● 東日本信用漁業協同組合連合会新潟支店

四、五〇〇円

● 日本漁船保険組合新潟県支所

九、〇〇〇円

● 全国合同漁業共済組合新潟県事務所

三、〇〇〇円



皆様方からの善意の募金は、漁船海難遺児育英会の奨学生に対して貴重な学費の一部として定期的に送金されており、大切に活用されています。

本年度も引き続き、漁船海難遺児募金への御支援をよろしくお願います。

● その他

三三円

● 新潟県漁業協同組合連合会

一五、八一五円

● 共水連北陸事業本部新潟支店

四、〇〇〇円

● 新潟県水産振興協会

一〇、〇〇〇円

● 全国漁業信用基金協会新潟支所

四、六六五円

佐渡海底熟成酒

～朱鷺が舞う島の海底浪漫～

海底20m 半年熟成

佐渡の海×佐渡の日本酒×潜水技術の掛け算で生み出された
新しい地域ブランドとして佐渡らしさを伝えます。

佐渡潜水
Sado Sensui

**コレが
お得!**

佐渡の海と暮らす
佐渡から発信

全国の小売店様、卸売り様に
特別価格にて販売出来ます。
業務用取引を希望の方は下記の
QRコードからお進み下さい。

安全を第一に、プロの
潜水技術で
地域の様々なニーズに
お答えします。

OceanForward オーシャンフォワード

お酒の他にもダイバーが使用するネオプレン生地を使った商品を取り扱う
オンラインショップ「オーシャンフォワード」も好評営業中！！

佐渡潜水株式会社
新潟県佐渡市加茂歌代331

0259-58-7228

味覚データによるのどぐろ評価

新潟県水産海洋研究所では、新潟県漁業協同組合連合会が取り組む魚食普及推進事業（公益社団法人新潟県水産振興協会助成事業）の一環として、令和六年度より県産水産物の味覚情報の収集に取り組んでいます。この取組は、県産水産物の味覚情報から美味しさを可視化することにより販売促進に繋げ、更には県産水産物全体のイメージアップを図ることを目的としています。

本研究では、県産水産物として、県ブランド推進品目及び県ブランドフィッシュに選定されている「のどぐろ（アカムツ）」を対象として、味識別装置（味覚センサー）を用いて味覚情報を収集しました。味覚センサーとは、人の舌と同じように味を識別し、相対的に数値化する機械であり、口に含んだ際の味覚（先味）として、旨味、苦味雑味、酸味、塩味、渋

味刺激を、飲み込んだ後に残る味覚（後味）として、旨味コク、苦味、渋味を測定します。なお、本研究では脂肪分を除外した魚肉を測定に用い、魚肉そのものの味を分析・評価しました。

令和六年度の取組結果は、本誌四五〇号において紹介していますが、のどぐろの味覚情報を測定した結果、いつでも美味しいのどぐろでも漁獲時期によって味に違いがあることが示唆されました。

そこで令和七年度は、のどぐろの漁獲時期による味の違いを詳しく検討しました。

のどぐろは、県内で一〜十月に漁獲された三〇〇〜八〇〇g程度のものを用い、味覚センサーで測定した結果、八、九月ののどぐろは他の時期と比べて、旨味や苦味雑味が強く示されました（図）。旨味は、アミノ酸等に由来する旨味成分の強さであり、苦味雑味

は、旨味と掛け合わさることで味わりに深みを持たせ、素材の味を底上げする成分を評価するものです。他の測定項目については、漁獲時期による違いはほとんど確認されず、年間を通じて安定した品質特性が維持されていることを示していました。

のどぐろの美味しさについて多くの方々は脂ののりを大切にしますが、今回の結果から、八、九月は脂ののりに加えて、魚肉そのものの旨味の強さとコク深さが両立した、濃厚で奥行きのある味わいが楽しめる、そんな時期であると言えるのではないのでしょうか。

二年間にわたり行ってきた味覚データの収集により、のどぐろの味に関する傾向が少しずつ明らかになってきました。本研究を通じて得られた知見は、新潟県漁業協同組合連合会と協力し、県産魚の付加価値向上や消費拡大に向けた基礎資料としての活用を検討していきます。

水産海洋研究所では、今後も様々な県産水産物の測定、分析を実施し、引き続き、新潟県漁業協

同組合連合会と連携して県産水産物の価値向上や消費拡大に資する研究を進めていきたいと考えています。最後になりますが、本研究にご協力いただきました新潟県漁業協同組合連合会、公益社団法人新潟県水産振興協会、県内漁業協同組合及び所属漁業者の皆様、並びに株式会社大庄総合科学新潟研究所の皆様に心よりお礼申し上げます。

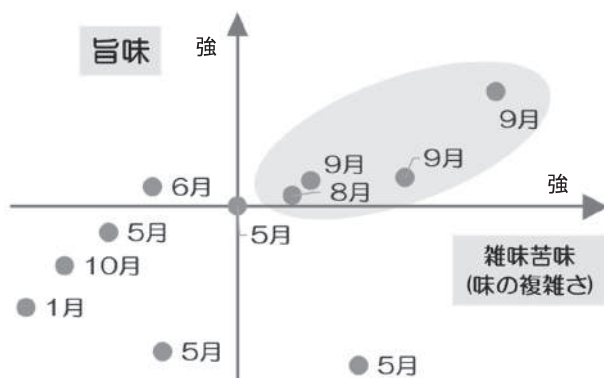


図 旨味－苦味雑味の味覚マップ

水 揚 情 報

令和 8 年 5 月末現在

単位：(kg, %)

区分	水揚合計	新潟	岩船	山北	寺泊	出雲崎	上越	佐渡
R7.12月～R8.5月 累計	6,384,181	3,033,088	247,956	365,345	193,825	56,828	710,074	1,777,065
R6.12月～R7.5月 累計	6,306,694	2,947,299	235,591	305,539	160,267	67,169	600,131	1,990,698
増減 (kg)	77,487	85,789	12,365	59,806	33,558	-10,341	109,943	-213,633
前年対比 (%)	101%	103%	105%	120%	121%	85%	118%	89%

地区別魚種ランキング12月～5月

前年対比：増加↑ 横ばい➡ 減少↓

新 潟

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	さば (スケール)	1,952,772	↑
2	べにすわいがに	372,074	↑
3	まあい	73,745	↓
4	わらさ	35,336	↑
5	まだい	33,704	↓

寺 泊

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まあい	68,616	↑
2	ぶり	24,205	↑
3	まだい	9,265	↓
4	ひらめ	9,109	↑
5	つぶ	8,240	↑

岩 船

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだら	33,445	↓
2	まいわし	33,022	↑
3	ぶり	23,892	↑
4	ひらめ	15,377	↓
5	かに	13,247	↓

出雲崎

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだら	16,493	↓
2	すわいがに	6,863	↑
3	さざえ	4,950	↓
4	けがに	2,512	↑
5	にぎす	2,212	↑

山 北

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだら	44,746	↓
2	にぎす	38,739	↑
3	すわいがに	25,751	↑
4	ひらめ	20,457	↓
5	あかがれい	19,199	↑

上 越

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだい	190,632	↑
2	まあい	85,229	↓
3	にぎす	72,875	↑
4	さば	54,597	↑
5	まいわし	25,130	↑

佐 渡

魚種ランキング	区 分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	さば	208,116	↓
2	あじ	182,343	↑
3	ぶり	80,675	↓
4	さざえ	70,900	↑
5	いなだ	61,020	↑

売 船 広 告 1

船名		弥彦丸	問合せ先	新潟漁業協同組合山北支所 TEL：0254-77-3141 担当：渡辺
船質・総トン数		FRP・7.3トン		
長さ×幅×深さ		12.61×3.53×1.3		
推進機関	種類・馬力数	ディーゼル・90PS	＜写真等＞	
	形式	6GX-ET		
	製作所	ヤンマー		
設備		無線、レーダー、 魚探、発電機、AIS		
造船所名		本間造船所		
進水年月		昭和63年 4 月		
売船価格		無償提供		

売 船 広 告 2

船名		栄幸丸	問合せ先	新潟漁業協同組合山北支所 TEL：0254-77-3141 担当：渡辺
船質・総トン数		FRP・6.6トン		
長さ×幅×深さ		12.27×2.95×1.27		
推進機関	種類・馬力数	ディーゼル・324kw		
	形式	6M105A-2		
	製作所	コマツ		
設備		無線、レーダー、 魚探、GPS、発電機、 AIS、リール	＜写真等＞ 	
造船所名		富樫造船所		
進水年月		昭和58年8月		
売船価格		要相談		

売 船 広 告 3

船名		第二福喜丸	問合せ先	新潟漁業協同組合 岩船港支所 TEL：0254-56-7621
船質・総トン数		FRP・8.5トン		
長さ×幅×深さ		13.58×3.38×1.55		
推進機関	種類・馬力数	ディーゼル・90ps		
	形式	4PH		
	製作所	ヤンマージェーゼル(株)		
設備		魚探、発電機、超短波	＜写真等＞ 	
その他		エンジン不調		
造船所名		富樫造船所		
進水年月		平成2年4月		
売船価格		要相談		

CMP CHUGOKU



最高級加水分解型船底塗料

あっぱれ

「あっぱれ」の防汚性能がさらにアップしました。

※ 製品改良に伴い光沢が若干増しており、仕上がり感が従来品と若干異なります。

あっぱれの特長

表層の高濃度の防汚剤イオン層により、優れた防汚効力を発揮します

高活性加水分解ポリマーによって、表面更新性が優秀です

塗膜表面が平滑に研磨され、水中の摩擦抵抗が減少します

色がカラフルです

2kg

4kg

レッドH

ブルーH

黒H

中国塗料株式会社

〒105-5516 東京都港区虎ノ門二丁目6番1号 虎ノ門ヒルズステーションタワー16F
TEL: 03-6457-9307 Website: www.cmp.co.jpご用命は最寄りの
漁業協同組合 購買課まで

お知らせ

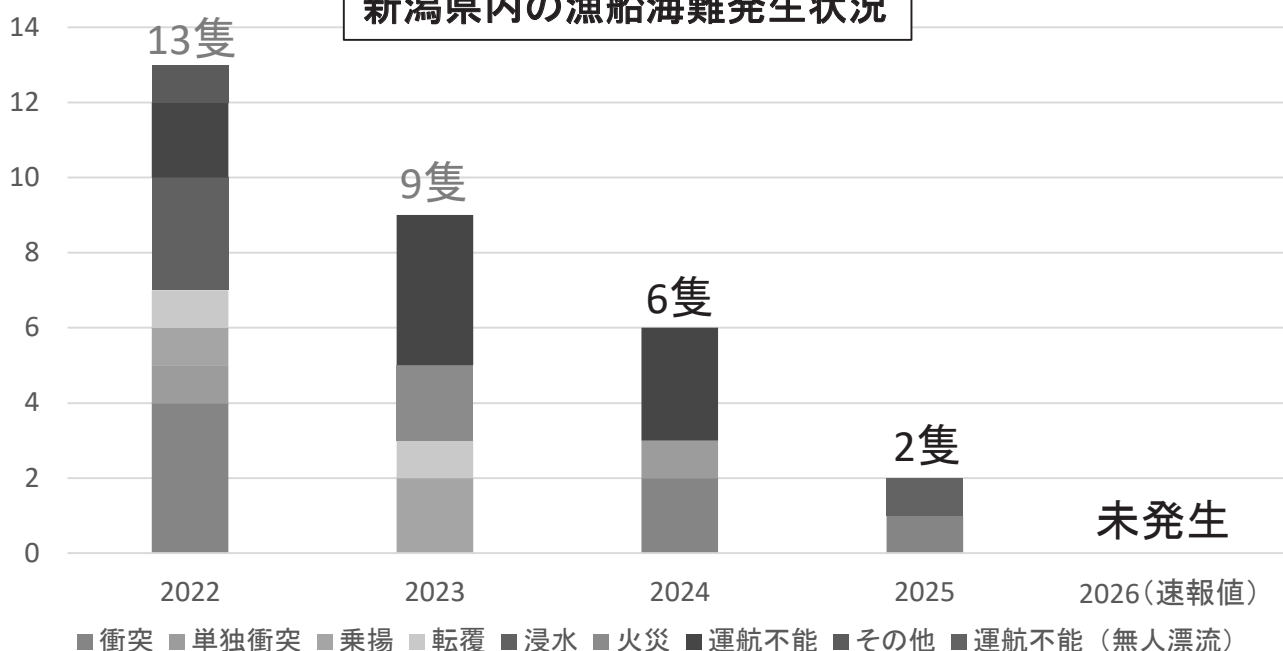


新潟海上保安部

①近年の漁船海難の発生状況

新潟県内における漁船海難は、昨年2隻発生しており、年々減少傾向にあり、今年6月末時点において海難の発生はありませんが、例年、転覆事故や1人で乗船の際に船内で負傷し、運航できなくなる事故が発生しています。

新潟県内の漁船海難発生状況



②事故対策

揚網作業等の作業中に負傷する事故は、ロープ、船体動揺等の作業環境に十分注意すると共に、見張りを確実に実施し他船の動向に注意してください。

また、漁に出る際は当日の体調面も考慮し、無理のないよう注意してください。

万が一に備えて、ライフジャケットの着用徹底、連絡手段の確保、海の事件事故は「118番」を忘れずに覚えておいてください。洋上では携帯電話の電波が弱いエリアもありますので、必要時に確実に連絡可能な状態を確保してください。

【問合せ先】

新潟海上保安部 交通課
TEL 025-244-1008



税関から漁業関係者の皆様へのお願い

税関では、国民の皆さんの生活を脅かす不正薬物や銃器などの密輸を撲滅するために日々取締を行っています。

令和七年の税関での不正薬物の押収量は、約三千二百一十一キロとなり、令和元年以来六年ぶりに三トンを超え、過去二番目を記録し極めて深刻な状況となっています。

そのうち、令和七年六月、東京税関において、ベトナムから到着した海上貨物から段ボールに隠匿された大麻草約一トンを摘発・押収しました。

日本国内で摘発される不正薬物や拳銃のほとんどが海外からの密輸品です。

税関では更なる水際での取締強化を進めているところ、新潟県の長い海岸線に対する取締りには、漁業関係者の皆様の協力が必要不可欠です。

身の回りで何か不審なことを発見したときは、新潟税関支署（〇二五―二四四―九三一四）又は密輸ダイヤルまでご一報下さい。

【漂着物・漂流物に注意！】

沖縄県にて麻薬であるコカインが漂着し、発見・摘発しました。

- ① 令和 8 年 1 月、沖縄本島読谷村海岸に漂着したコカイン約 1 キロ



- ② 令和 8 年 2 月、沖縄県宮古郡多良間村海岸に漂着したコカイン約 1 キロ



【大麻草約1トンを摘発】

令和 7 年 6 月、東京税関において、ベトナムから到着した海上貨物から、段ボール箱に隠匿された大麻草約 1 トンを摘発・押収しました。



けん銃・麻薬の
密輸防止にご協力を！

港でこんなことに出会ったら税関にお知らせ下さい。

密輸ダイヤル

0120-461-961

税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/>



税関ホームページ

税関

検索



密輸情報提供
サイトは
こちらから▶

